

併設自家発電設備(蓄電池等)技術検討用資料
(JET認証品用)

1.蓄電池

項目	仕様	
種別	リチウムイオン蓄電池	
型式	***-****	
製造者	○○○株式会社	
定格電圧	DC180	V
容量	7.200	kWh

お客さま名	○○○○○
-------	-------

2.燃料電池等

項目	仕様	
種別	個体高分子形燃料電池	
型式	***-****	
製造者	○○○株式会社	
出力	0.800	kW

3.逆潮流の有無 逆潮流 有・無

4.逆変換装置

認証登録	有・無	承認登録番号	MP-XXXX
型式	***-****	製造者	○○○○株式会社

項目	仕様		項目	仕様	
交流出力関連	電気方式	単相2線式(単相3線式に接続可能)	自動電圧調整装置	最大110Vまでの整定可否	
	定格出力	2.5kW		可・否	
	定格電圧	200V		整定上限値(ご希望がある場合)	
	運転効率	0.95以上		V	

		系統連系規格標準整定範囲		お客さま設備整定値		系統連系規格標準整定範囲	お客さま設備整定値
		検出レベル (整定範囲)	検出時間 (整定範囲)	検出レベル	検出時間		
系統事故対策	過電圧(OVR)	115% (110~120%)	1秒 (0.5~2秒)	※	※	電圧位相跳躍検出	±3~±10度
	不足電圧(UVR)	80% (80~90%)		※	※	3次高調波電圧急増検出	±1~+3%
	周波数上昇(OFRR)	61.2Hz (60.6~61.8Hz)		※	※	周波数変化率検出	±0.1~±0.3%
	周波数低下(UFR)	58.2Hz (57.0~59.4Hz)		※	※	その他()	
	過電流素子(OC)付漏電遮断器	適・否		※	※	ステップ注入付周波数フィードバック方式	—
お客さま構内事故対策		製造者	△△△△	極・素子数	3P3E	その他()	
		逆接続	可・否	型式	△△△△	標準値(整定可能範囲)	お客さま設備整定値
連系の再開		自動・手動	復電後	300	秒	並列時許容周波数	60.1[Hz](+0.1~+1.0[Hz])

※標準値外の場合のみ記入

5.単線結線図,平面図

単線結線図には、PCS箇所、電線情報(種別、サイズ、長さ)及び漏電遮断器情報(容量、極・素子数、逆接続可能の有無)。

併設自家発電設備箇所、CT位置を記入する。

平面図には、受電地点、分電盤箇所、電力量計箇所、PCSおよび併設自家発電設備箇所を記入する。

6.JET認証証明書

JET認証証明書(写)を添付のこと。

工事店情報		
電気工事店名	○○電気工事	株
ご担当者名	△△ △△	株
連絡先	000-0000-0000	

7.サイバーセキュリティ対策

系統連系に際して、サイバーセキュリティ対策の実施、セキュリティ管理責任者の氏名及び緊急時連絡先を通知いただく必要があるため、その確認をさせていただきます(対策内容を確認しチェックください)。

□ 系統連系技術要件に基づいた以下のサイバーセキュリティ対策を実施します。

- 1:外部ネットワークや他ネットワークを通じた発電設備の制御に係るシステムへの影響を最小化するための対策
2:発電設備の制御に係るシステムへのマルウェアの侵入防止対策

セキュリティ管理責任者			
氏名	北電 太郎	電話番号	○○○-○○○○-○○○○

【自動電圧調整装置に関する記載上のお願い事項】
自動電圧調整装置の整定値は、お客さま構内の電圧と発電可否に影響しますので、別添の「太陽光発電の発電抑制について」をご一読頂き、お客さまのご意向を記載下さるようお願い致します。
(発電設備の製品仕様を記載する項目ではございませんのでご注意ください。)

◇最大110Vまでの整定可否

余剰電力に伴う電圧上昇による発電抑制を回避するため、自動電圧調整装置の整定値を110V以下の範囲で整定することにご同意される場合には「可」、同意されない場合には「否」に○を記してください。

◇整定上限値(ご希望がある場合)

最大110Vまでの整定が「可」の場合は記載不要です。「否」の場合にはご希望の整定上限値をご記載ください。

【お客さま設備整定値に関する記載上のお願い事項】
標準値外となる場合のみ整定値をご記載ください。

併設自家発電設備(蓄電池等)技術検討用資料
(JET認証品以外)

お客さま名	〇〇〇〇〇〇
-------	--------

1. 蓄電池

項目	仕様	
種別	リチウムイオン蓄電池	
型式	***-****	
製造者	〇〇〇株式会社	
定格電圧	DC180	V
容量	7.200	kWh

2. 燃料電池等

項目	仕様	
種別	個体高分子形燃料電池	
型式	***-****	
製造者	〇〇〇株式会社	
出力	0.800	kW

3. 逆潮流の有無

逆潮流

有・無

4. 逆変換装置

型式		***-****		製造者		〇〇〇株式会社	
項目		仕様		項目		仕様	
交流出力関連	電気方式	単相2線式(接続方式単相3線式)		制御電源	保護継電器		
	定格出力	4.8kW			遮断装置		
	定格電圧	200V		混触防止用変圧器		有・ <u>電</u> / 高周波絶縁トランス内蔵	
	運転効率	95%以上			直流検出	240 mA	時限
主回路方式	インバータ方式	自励式電圧型電流制御方式		自動電圧調整装置		有・無	
	スイッチング方式	PWM方式			最大110Vまでの整定可否	可	否
	絶縁方式	非絶縁トランス方式			整定上限値(ご希望がある場合)		V
電力制御方式		最大電力追従方式		自動同期機能		有・無 / 自動式の場合必須	
内部保護	DC過電圧	454.5 V	時限 0.5 秒	現流リアクトル		有・ <u>電</u> / 自動式のため不要	
	DC不足電圧	50 V	時限 0.5 秒		高調波電流歪率	総合	各次
	AC過電流	33.6 V	時限 0.5 秒			5 %以下	

【自動電圧調整装置に関する記載上のお願い事項】

自動電圧調整装置の整定値は、お客さま構内の電圧と発電可否に影響しますので、別添の「太陽光発電の発電抑制について」をご一読頂き、お客さまのご意向を記載下さるようお願い致します。
(発電設備の製品仕様を記載する項目ではございませんのでご注意ください。)

◇最大110Vまでの整定可否

余剰電力に伴う電圧上昇による発電抑制を回避するため、自動電圧調整装置の整定値を110V以下の範囲で整定することに同意される場合には「可」、同意されない場合には「否」に○を記してください。

◇整定上限値(ご希望がある場合)

最大110Vまでの整定が「可」の場合は記載不要です。「否」の場合にはご希望の整定上限値をご記載ください。

		系統連系規格標準整定範囲		お客さま設備整定値			系統連系規格標準整定範囲		お客さま設備整定値	
		検出レベル(標準値)	時限(標準値)	検出レベル	時限		検出レベル	時限	検出レベル	時限
系統事故対策	過電圧(OVR)	115% (110~120%)	(1秒 (0.5~2秒))	※	※	単独運転検出対策 受動的 方式	電圧位相路検出	±3~±10度	±6度	0.5秒
	不足電圧(UVR)	80% (80~90%)		※	※		3次高調波電圧歪急増検出	+1~+3%		
	周波数上昇(OF)	61.2Hz (60.6~61.8Hz)		※	※		周波数変化率検出	±0.1~±0.3%		
	周波数低下(UFR)	58.2Hz (57.0~59.4Hz)		※	※		その他()			
	過電流素子(OC)付漏電遮断器			※	※		ステップ注入付周波数フィードバック方式	—	瞬時	
お客さま構内事故対策		製造者	△△△△	極・素子数	3P3E	能動的 方式	その他()			
		逆接続	可・否	型式	△△△△		標準値(整定可能範囲)	お客さま設備整定値		
連系の再開		手動	復電後	300	秒	並列時許容周波数		60.1[Hz](+0.1~+1.0[Hz])	※	

【お客さま設備整定値に関する記載上のお願い事項】
標準値外となる場合のみ整定値をご記載ください。

5. 単線結線図、平面図

単線結線図には、PCS箇所、電線情報(種別、サイズ、長さ)及び漏電遮断器情報(容量、極・素子数、逆接続可能な有無)。

併設自家発電設備箇所、CT位置を記入する。

平面図には、受電地点、分電盤箇所、電力量計箇所、PCSおよび併設自家発電設備箇所を記入する。

6. 併設自家発電設備(蓄電池等)仕様書

工事店情報		
電気工事店名	〇〇電気工事	様
ご担当者名	△△ △△	様
連絡先	000-0000-0000	

7. サイバーセキュリティ対策

系統連系に際して、サイバーセキュリティ対策の実施、セキュリティ管理責任者の氏名及び緊急時連絡先を通知いただく必要があるため、その確認をさせていただきます(対策内容を確認しチェックください)。

□ 系統連系技術要件に基づいた以下のサイバーセキュリティ対策を実施します。

1:外部ネットワークや他ネットワークを通じた発電設備の制御に係るシステムへの影響を最小化するための対策

2:発電設備の制御に係るシステムへのマルウェアの侵入防止対策

セキュリティ管理責任者		
氏名	北電 太郎	電話番号

〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇